第16回毛利セミナー

次世代フッ素、デリバリー、ネット宅配
体質改善と対応を迫られている問題点

今年は〝次世代フッ素の進捗を学び、宅配クリーニングの可能性の追求だ！〟――業者同士が切磋琢磨し合い、最新の課題を論じ合う「第16回毛利春雄セミナー～今、迫られている問題」が、10月初旬神戸で開催される。参加者は誰でも歓迎というオープン講座である。

いよいよ本格的な人口減少・団塊の世代の引退が続く時代となり、市場の縮小は一層加速。業界の売上げはピーク時の半減を割り込む状況になっているが、一方で、実は業界規模や利用者数ダウンは長らく10～15%の減少に留まっていた。

これが「まだ、何とかなるさ」と思われる由縁となっていたのだが、その臨界点がついに決壊、毛利講師の会員仲間でもその大波に巻き込まれつつある容易ならざる事態だ。本当の体質改善を進めないとこの厳しく深刻な状況を乗り切れず、急いで対応しなければという啓蒙セミナーである。

■第1議題　「体質改善と対応を迫られている問題点」――講師・毛利春雄オフィス毛利代表。顧客とのチャネルの拡充、16年末実施の新JISへの対応、ドライCLの将来は？と次々に課題が増え続ける中、直近は盛りを迎える東京オリンピックのその後を見据える経済への懸念も高まっている。あらゆる投資が集中される五輪後、間違いなく〝壁下経済〟になっていくわけで、その中でもしっかり生き残っていける優良企業への体質改善を促す基調講演。

基調講演は毛利講師

宅配CLの坂田社長

■第2議題　「次世代フッ素系溶剤を」――将来のドライCLはオゾン破壊のない、社会環境対応の溶剤しかないという中で、新フッ素系溶剤の展開はどうなるか。セントラル硝子㈱化成品営業部山本幸一課長による講演や旭硝子㈱AGC化学品カンパニー・ガス溶剤グループ花田毅リーダーのAMOLEA（アモレア）の紹介講演。

■第3議題　業の流通を考える＝「デリバリーリーニングを展開して」講師・坂田知裕㈱トゥモロウ社長。デリバリーシステムのパイオニアが、これまでの展開と今後と業界の将来像を語る。それに加えて「ネットクリーニングの現在と未来」は講師・安藤達裕㈱ホワイトプラス経営戦略室長が語る。ご存知、ネット宅配の雄・リネットの立ち上げから現況及び将来像を聞き、消費者の現況を探る。

10月6日㈫午後1時30分～5時30分まで。次いで懇親会。会場は新幹線神戸駅側のANAクラウンプラザホテル神戸。会費は懇親会込みで1社1万2000円（2人目から6000円）。申込み電話は078・411・4802。